※令和４年度以降入学生用

学校番号	C4001

令和８年度　理科

科目	生物	単位数	3
使用教科書	生物（東京書籍）		
副教材等	なし		

	前期	後期
単位	2	1
レポート	６通	３通
必要出席回数	８回	４回
テスト	○	○

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生物は、生物基礎の内容をさらに深めたことを学習します。スクーリングの際に、内容をまとめたプリントを配布しますので、そのプリントや教科書をよく読むと、レポートは完成できます。テストは主にレポートから出題します。なお、医療・看護系への進学を考えている人は、できるだけ受講することをおすすめします。（生物基礎を履修してから受講できます）

2　学習の到達目標

・日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
・観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。
・生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物や生物現象の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する必要な技能を身につけている。	生物や生物現象の中に問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身につけている。	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について主体的に関りをもち、意欲的に探究しようとするとともに、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を身につけている。

- 学習指導要領（第１章第２款の５）に則り、ラジオ・テレビ放送その他の多様なメディアを利用して行う学習による面接指導時間数の免除（面接指導の時間数のうち 10 分の６以内の時間数を免除）の制度を活用する。
- 学期末に５段階で評価する。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知 (a)	思 (b)	主 (c)
後期	生物の進化	・生命の起源と細胞の進化 ・遺伝子の変化と進化の仕組み ・生物の進化と系統	a.生物の進化に関する概念や原理・法則などを理解し、知識や探究する技能を身に付けている。 b.生物の進化に関する現象について科学的に考察し、探求しようとしている。 c.日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について主体的に関りをもち、意欲的に探究しようとする。	・定期考査	・定期考査	・レポート・スクーリング
	生命現象と物質	・細胞と分子 ・代謝	a.生命現象と物質に関する概念や原理・法則などを理解し、知識や探究する技能を身に付けている。 b.生命現象と物質に関する現象について科学的に考察し、探求しようとしている。 c.日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について主体的に関りをもち、意欲的に探究しようとする。	・定期考査	・定期考査	・レポート・スクーリング
	遺伝情報の発現と発生	・遺伝情報とその発現 ・発生と遺伝子発現 ・遺伝子を扱う技術	a.遺伝情報の発現と発生に関する概念や原理・法則などを理解し、知識や探究する技能を身に付けている。 b.遺伝情報の発現と発生に関する現象について科学的に考察し、探求しようとしている。 c.日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について主体的に関りをもち、意欲的に探究しようとする。	・定期考査	・定期考査	・レポート・スクーリング
	生物の環境応答	・動物の反応と行動 ・植物の環境応答	a.生物の環境応答に関する概念や原理・法則などを理解し、知識や探究する技能を身に付けている。 b.生物の環境応答に関する現象について科学的に考察し、探求しようとしている。 c.日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について主体的に関りをもち、意欲的に探究しようとする。	・定期考査	・定期考査	・レポート・スクーリング
	生態と環境	・個体群と生物群集 ・生態系	a.生態と環境に関する概念や原理・法則などを理解し、知識や探究する技能を身に付けている。 b.生態と環境に関する現象について科学的に考察し、探求しようとしている。 c.日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について主体的に関りをもち、意欲的に探究しようとする。	・定期考査	・定期考査	・レポート・スクーリング

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度